

思い出が詰まった学びやを卒業 ～市立小・中学校卒業式～

市内小・中学校の卒業式が、3月12日に中学校、3月24日に小学校で行われました。今年度は小学校290人、中学校337人の児童生徒が卒業。それぞれの学校で、先生や在校生、保護者、地域の方々など、多くの方に見送られて学びやを後にしました。

川辺中学校では、中森孝一校長が「これから価値のある目標を設定して、最後まであきらめずに夢を達成してください。挑戦し続けることで夢は叶えられる」と式辞を述べました。卒業生は友との別れを惜しみつつ、それぞれの道にはばたいていきました。



▲川辺中学校は127人が卒業しました。中森孝一校長から卒業生一人一人に卒業証書が手渡されました。



九玉小学校では、卒業生一人一人に卒業証書が手渡されたあと、それぞれの6年間の思い出を詠んだ俳句が紹介されました。また、在校生全員から別れのことばが送られ、最後に卒業生から在校生へ校旗が手渡されました。



▲九玉小学校は、13人が卒業しました。先生や在校生にしっかりと別れのことばを伝える卒業生に、保護者は成長を感じて感動しているようでした。

災害用バイク贈呈 ～川辺次世会～

3月11日、市役所で災害用バイクの贈呈式があり、川辺地域の建設業者でつくる「川辺次世会」から、災害が発生した時に有効に活用してほしいと、250cc オフロードバイクが市へ贈呈されました。桑畑会長は「地域のために何かしようと話し合い、災害時、バイクが有効と考え決めました。市民のために役立ててほしい」と話しました。



▲川辺次世会の会員が見守る中、桑畑会長から霜出市長にオフロードバイク贈呈の目録が手渡されました。

▼これから「アグリウォーク」が、地元のイベントとして根付いていくことが期待されます。



第3回アグリウォーク開催 ～新芽が芽吹く茶畑を歩く～

3月22日、第3回アグリウォークが晴天のもと開催されました。200人を超える市内外の参加者が、20㌔、10㌔、6㌔の3コースに分かれ、暖かな日差しの中、アグリランドえいをスタートしていきました。今年もコースの途中で、地元の皆さんの協力によるお茶やふくれ菓子などの“おもてなし”があり大好評でした。

川 辺仏壇が入賞！ ～全国伝統的工芸品仏壇仏具展～

今回で 22 回目となるこの仏壇仏具展は、2 年に一度開催される全国大会で、仏壇産地から 68 点が出品され、全国賞 6 本のうち（一財）伝統的工芸品産業振興協会賞を久保仏具店が、日本伝統工芸士会会長賞を大阪屋仏壇店がそれぞれ受賞しました。久保純一さんは、「今回の受賞を通して、川辺仏壇の優れた伝統技術を多くの方に伝えていきたい」と話しました。



▲受賞仏壇と久保純一さん（左）。受賞仏壇と製作に携わった仏壇後継者の大坂朋弘さん（右）。

▼実行委員長の田中弘文さんは、「これを機に地域の方々と夢通りとの交流が増えて、商店街の活性化に繋がれば」と期待に胸を膨らませていました。



LEDで商店街を元気に！ ～川辺商店街開運夢通り～

3 月 21 日、川辺商店街開運夢通りの LED 街路灯の完成を記念して「つまみ食いウォーキング」が開催されました。550 人以上が参加し、いなり寿司、から揚げ、お菓子など、たくさんのつまみ食いポイントに立ち寄りながらウォーキングを楽しみました。参加者は、「通りが以前より明るくなった」「こんなお店もあったんだ」と話していました。

有 職雛を飾っています ～松山洋子さん（川辺町天神坊）～

川辺町天神坊にある松山洋子さん宅では、旧暦のひなまつりに合わせて、松山さんが作られた装束を身にまとった有職雛が飾られています。有職雛とは、実際の公家の装束を忠実に再現した雛人形で、人形も装束の紋様も全て4分の1の大きさに仕立てられています。その出来栄は大変すばらしく、市内外からこの時期に見に来る方が後を絶たないそうです。



▲松山さんの有職雛は着せ替えができ、毎年色とりどりの着物を羽織っています。5月の連休まで飾られるそうですので、ぜひお出かけください。

▼4月1日からは、学校法人光徳寺学園がかつめ保育所として運営を引き継ぎます。



市立保育所として最後の卒園・修了式 ～かつめ保育所、4月から民間移管～

3 月 14 日、市立かつめ保育所で公立保育所として最後の卒園・終了式が行われました。12 人の卒園児一人一人に卒園証書が手渡され、みんな笑顔で元気よく受け取りました。保護者の方は、子どもの成長に目を潤ませていました。かつめ保育所は平成 22 年 4 月に開所以来 41 人が卒園しました。これで市立保育所は全て民間施設へ移管されました。

土砂災害防止に関する絵画 表彰 ～青戸小学校 中川路 芽衣さん～

土砂災害防止月間に募集した絵画・作文において、多くの応募作品の中から「絵画・小学生の部」で青戸小学校の中川路芽衣さんが国土交通事務次官賞を受賞しました。3月12日、青戸小学校で伝達式が行われ、南薩地域振興局の上大田河川港湾課長から表彰状と副賞が授与されました。



▲中川路さんは、「受賞できてうれしい。これからいろんな絵を描きたい」と話しました。

結成 30 年！ 記念植樹 ～「うとら会」から桧3本とソテツ1本～

颯娃中学校 41 年卒業生で結成されている「うとら会」（寅・兎の干支生、会員 40 人、田之上英豊会長）が、アグリランドえいの園内に桧3本とソテツ1本を植樹しました。同会は毎年、各種ボランティア活動を行っており、今回、アグリランドえいの緑化活動に参加したものです。



▲うとら会の方々は植樹後、会員の健康長寿を確認し、園内で懇親を深めました。

川辺・颯娃分遣所にガスコンロ贈呈 ～鹿児島県LPガス協会～

3月13日、鹿児島県LPガス協会から川辺・颯娃分遣所にガスコンロが贈呈されました。小園藤生南薩支部長は「最新の安全装置を備えたガス機器を防火指導に当たる消防職員の皆さんに使っていただき、一般家庭の防火意識の向上に役立てて欲しい」と話しました。



▲川辺分遣所でLPガス協会南薩支部長の小園さんからガスコンロが贈呈されました。

陽光桜満開！市特産食品満載！ ～春のうんまかもん市～

3月22日、道の駅川辺やすらぎの郷で春のうんまかもん市が開催されました。特産品協会員8業者がイベント広場に出展し、知覧茶をはじめ、川辺牛串焼き、つ



▲当日は、晴天温暖な日で、また桜も満開の中、たくさんの来場者で賑わいました。

百歳おめでとうございます ～満永歳雄さん（颯娃町牧之内）～

満永歳雄さんが、3月20日に100歳の誕生日を迎えられました。結婚後まもなく兵役志願し出征、終戦後必死の思いで鹿児島に帰ってこられたそうです。戦後は地元の会社に勤める一方、自分で作った農作物を遠くは熊本まで売りにいくなど、農業も頑張っておられました。



▲当日は霜出市長がご自宅を訪問し、ご家族・ご親族と一緒に祝いました。

未来へはばたけ 新入隊員！ ～自衛隊新入隊員壮行激励会～

3月14日、富屋旅館で平成27年南九州市自衛隊新入隊員壮行激励会が行われました。霜出市長はじめ来賓の方々から激励の言葉を頂いた後、松元平河さんが代表して「郷土の隊員としての誇りを胸に一日も早く立派な自衛官となるよう日々精進したい」とお礼の言葉を述べました。



▲今年は防衛大学1人、陸上自衛隊4人、海上自衛隊3人の計8人が入校・入隊します。